



平成30年度

自治体財政運営の理論と実際 ～自治体財政診断のノウハウ～

健全な財政運営を行っていくためには、財政状況を的確に分析し、地方債の発行管理を行うことが必要であり、そのためには、将来的な償還能力やストック面も含めて財政診断ができる能力が不可欠です。

この研修では、自治体の財政運営について、理論だけでなく、自らの自治体の財政を的確に分析・診断するノウハウを学びます。

開催要領

日程 平成30年7月30日(月)～8月1日(水) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 原則として財政担当課での経験が1年以上の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※自治体の財政運営(財政診断等)について、一定の知識と経験を有する方を対象としております。

1年未満の方も受講は可能ですが、受講決定通知にてご案内いたします参考図書等を研修前にお読みいただくことを前提としますので、予めご了承ください。

募集人数 40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成30年6月20日(水)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成30年

7月
30日(月)

11:00～ 入寮受付・昼食

12:30～ 開講・オリエンテーション

13:00～ 15:00

講義 財政状況の「見える化」の推進

総務省自治財政局財務調査課長 山越 伸子 氏

財政情報の「見える化」の推進など、最新の動向を含めた地方財政を取り巻く課題について解説いただきます。

15:15～ 17:00

講義 公共施設等の総合管理と基金のあり方

関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授 小西 砂千夫 氏

各施設の老朽化対策が本格化している現状を踏まえ、公共施設等の総合管理と基金のあり方について学びます。

17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25～ 12:00

講義・演習 統計手法による財政分析

地方公共団体金融機構ファイナンス支援課長兼審査室長 水上 拓也 氏

コーディネーター: 関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授 小西 砂千夫 氏

受講される皆様の所属団体の財政状況を比較しながら、意見交換を行い、具体的な財政分析について学びます。

13:00～ 17:00

講義 財政診断と地方債発行管理の考え方

関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授 小西 砂千夫 氏

財政健全化法を踏まえた財政健全化の考え方を学びます。

17:00～ **課外演習**

9:25～ 12:00

講義 公会計の活用と固定資産台帳の更新

関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授 小西 砂千夫 氏

公会計の活用と固定資産台帳の更新について学びます。

13:00～ 14:10

ふりかえり 意見交換・まとめ

関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授 小西 砂千夫 氏

3日間の研修のまとめを行った後、ふりかえりを行います。

14:10～ 14:40 **研修アンケート記入、閉講**

平成30年

8月
1日(水)

平成 29 年度研修受講者の声 ～研修アンケートから～

- 基金額比率という独自指標を紹介していただき、新たな視点を取り入れることができてよかった。
- 経常収支比率や実質公債費比率の考え方は大変参考になった。今後の業務にも活用していきたい。
- オリジナルの指標を用いた財政診断で、自らの自治体の状態、推移をリアルに実感できた。
- 基金、将来負担、実質公債比率の3つの視点からアプローチすべきということがよく理解できた。

本研修の他、**財政運営**に関する研修をご紹介します。
なお、各研修の詳細は、研修日の約2か月前にお送りする研修案内ちらしをご覧ください。

自治体の自律的な財政運営～制度と最新の動向～ 研修期間:平成30年9月10日(月)～9月12日(水)
地方財政制度や地方交付税等の諸問題に関する講義・演習等により財政における国と地方の関係をはじめ、地方財政・税制等における最新の動向を読み解き、自律的で健全な財政運営に取り組んでいくための能力の向上を図ります。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。